

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

一般社団法人アスラサポート

②事業者情報

名称：	レイモンド戸ヶ崎保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	園長 佐伯 朋美	定員(利用人数)：	90 名
所在地：	〒 341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎2399 - 1	TEL	048-949-6610

③評価実施期間

令和 7年 9月 16日（契約日）～令和 8年 1月 27日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

1. 主体性を実践する環境づくり

①子ども一人ひとりの行動・言葉・表情をよく観察し興味をもったこと、心が動いたことのタイミングを見逃さず遊びや生活習慣の獲得が得られるように「レイアウトの変更」・「遊びの材料や素材」を子どもの手の届くところに分別整理しつつでも子どもに提供できるように努めている

この分別は子どもがどれを使って何を作ろうかと想像できるものであり主体性保育の基盤となっている

②手作り家具は主体的保育を実践するために子どもの目線に合った収納棚やロッカー・衣服がたためるようになるコーナーなど至る所に主体的に行動できるよう作成されている

また園のスペースや子ども・職員の動線を考慮された配置と適切なサイズの家具は年齢ごとの高さや運びやすい形状にするなど保育士の意見が取り入れられ作成され保育活動を支えている

園全体で子どもひとり一人へ主体的保育を実践する意気込みが感じられる

③子ども会議は「サークルタイム」と名付け子ども自身が議題を決め結論を出していくプログラムがある

これは子ども自身が課題をやってみたい計画など自ら考え意見を表明する機会を作り他者の意見を取り入れ折り合いをつけていく経験を積ませている

小学校進学を見据え職員は主体性を促しリードせず見守りサポートに努めている

2. 子どもの成長が手に取るようにわかるよう園内の様子を発信している

子どもの成長をともに共有するために保護者へわかりやすく丁寧に伝えている

クラスごとに毎日コミュニケーションを作成し掲示している

これは様子だけでなく子どもが興味を持ったきっかけ・子ども同士のやり取り・発した言葉・遊び・活動の展開が伝わるよう写真やコメントし成長過程を丁寧に伝える工夫が見られる

職員のコメントには次につなげたい視点や今後取り入れたい活動の意図が記載され保護者と職員で共有し共に育てていこうという関係を築くツールにしている

◇今後期待したい事

今後も地域の中で安定した運営を継続し続けるため中長期計画を策定することを期待します

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の第三者評価は園長交代後初めての受審でした。保育の質の向上のために、保護者様及び地域、職員の要望等を鑑みつつ、環境を整え運営してきましたが、これまでの過程や成果、課題を総合的かつ客観的に振り返ることができ、大変有意義で貴重な機会となりました。第三者評価を通し、子どものために最善の保育について職員全体で再確認をし、より良き保育所となるよう今後も取り組んでいきたいと思ひます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり